

会場アクセス

リヴァージュ・スパひきがわ

- 和歌山県西牟婁郡白浜町日置 1013-25
- JR利用：紀伊日置駅下車、バス（明光バス）で約10分。
- 自動車利用：日置川ICより約5分。
- 専用駐車場有



南紀月野瀬温泉 ぼたん荘

- 和歌山県東牟婁郡古座川町月野瀬881-1
- JR利用：JR紀勢本線 古座駅下車、タクシーで約10分  
料金1000円程度。終電20：30頃。(2013年1月現在)
- 自動車利用：阪和自動車道 田辺ICより、国道42号線方面
- 交通案内文：JR古座駅よりタクシーで約10分。阪和道田辺ICより国道42号線で約120分。



和歌山大学南紀熊野サテライト所在地

- 和歌山県立 情報交流センター ビッグ・ユー内  
〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9-102
- JR利用：JR紀勢本線 BigU 最寄駅、JR白浜駅。  
大阪方面から新大阪より約2時間30分
- 自動車利用：阪和自動車道 田辺ICより、国道42号線方面
- 専用駐車場有



応募要項

※募集人数と費用について

塾生募集は20名様迄（応募者が多数の場合は抽選となります。ご了承ください。）

- ①募集対象：第1期・2期生、及び塾生の紹介者で全ての回に参加が可能な方、18才以上の方、大学生、高校生
- ②会場までの交通費、宿泊費等の費用は自己負担となります。
- ③受講料、バス費用、会場費用、テキスト代など参加費として実費1万5千円を初回に徴収いたします。（宿泊・食事は別）

※記載の内容は変更することもあります。予めご了承ください。



平成27年度 南紀熊野観光塾 参加申し込み用紙 FAX:0739-23-3978 メール：nankuma@center.wakayama-u.ac.jp

※下記に必要な事項をご記入の上、2月29日(月)正午までに、FAX送信するか、記載内容をメールにてお申込みください。

フリガナ お名前：	年齢：	性別： 男 ・ 女
住所：		
所属：	電話番号：	
電子メール：		

※この申込みの情報は開催の目的以外では使用しません。

お問い合わせ先



和歌山大学南紀熊野サテライト

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9  
和歌山県立情報交流センター Big・U 102号室  
TEL.0739-23-3977 FAX.0739-23-3978  
http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/  
■開室時間 10:00～17:00（日曜・月曜・祝日休み）

南紀熊野サテライトは、地域課題に対応した地域連携・貢献を推進するため、和歌山大学全体の知的資源を活かして南紀熊野における地域連携・貢献に関わる教育と研究及び、地域づくりの人材と地域課題に対応した事業に参画するための拠点です。

地域づくりを  
一緒に考えよう



平成28年早春開塾

—いま、求められる観光中核人材を考える。次世代のリーダー育成塾—



募集  
20名

和歌山大学南紀熊野サテライト  
「南紀熊野観光塾」  
第3期生募集!

開催日

平成28年  
3月2日(水)・3日(木)・4日(金)

申込締切日

平成28年2月29日(月)正午

参加条件

第1期・2期生、及び塾生の紹介者を中心に  
全ての回に参加する意欲の有る方  
高校生・18歳以上の方(学歴等不問)

「南紀熊野観光塾」とは、「選ばれ続ける地域」をモットーに、南紀熊野のあるべき姿をみんなで考える塾です。魅力的で持続可能な地域づくりの仕組みを担う中核的な人材を育成することを目的とした塾です。人々が地域の魅力に気づき、誇りを持って幸福に暮らすことができれば、おのずとそこには観光客がやって来ます。では、どのような地域になれば人々は幸福になれるのでしょうか。この塾では、それを根本から考え抜くとともに、さまざまな分野から参加された塾生の方々との間でじっくりと議論していきたいと考えています。あらためて地域づくりや観光について学び直すだけでなく、同志を見つける場として大いに活用してください!

2期にわたって観光塾を開催し、塾生の皆さんがさまざまな取り組みに挑戦する姿を傍らでとても頼もしく拝見しています。しかし、「なかなか商品が作れない」、「思い描いた結果が出ない」といった声も少なくないようです。

そこで、今年度の観光塾は1期生・2期生を対象に、あらためて観光の本質や地域資源の活用のあり方を学び、これまでの皆さんの活動や経験を自分自身で見つめ直し、それを持ち帰り次なる実践に活かしてもらうことを主な目的として企画しました。ぜひご参加ください。

事務局一同

※次の方々にお勧めの塾です。

観光業従事者	観光振興の担い手	地方公共団体	ジオパーク担当者
若手起業家	観光案内者	まちづくり担当者	旅館経営者
地域振興団体	地域住民の方	観光に関心のある大学生・高校生	
工商関係者	インストラクター	地域づくり担当者	ガイド、語り部

主催：和歌山大学地域創造支援機構南紀熊野サテライト・和歌山大学観光学部 後援：和歌山県

※記載の内容は変更する事もあります

# 南紀熊野観光塾 カリキュラム

【2016年3/2、3/3、3/4】  
山田桂一郎 塾長



1日目  
3月2日  
2016

## ◆開会式

### 開講式・事務連絡

会場 時間 リヴァージュ・スパひきがわ(現地集合)  
13:00 ~ 13:20(受付 12:30~)

2 Mar. 2016 Rivage Spa Hikigawa

## 基調講演

### ◆基調講演

#### 『地域の30年後の姿を考え、今なにをすべきか』

講師：山田桂一郎塾長

過去2年間の観光塾での議論をふまえて、あらためて30年後の南紀熊野地域がめざすべき姿について考えてもらいます。



会場 時間 リヴァージュ・スパひきがわ  
13:20 ~ 14:50

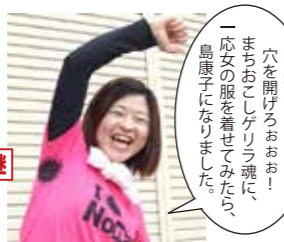
2 Mar. 2016 Rivage Spa Hikigawa

## 事例報告1

### ◆事例報告① 島康子氏

#### 『マグロ活かしマグロを超える！大間のゲリラ的まちおこし』

本州最北端の町・大間で長年に渡りゲリラ的まちおこし活動を行っている「あおぞら組」前組長・島康子が、その紆余曲折を建前なしのホンネで語ります。



会場 時間 リヴァージュ・スパひきがわ ☆web中継  
15:00 ~ 16:20

2 Mar. 2016 Rivage Spa Hikigawa

## 事例報告2

### ◆事例報告② 柏木隆久氏

#### 『これからの国際観光を考える』

近年、海外からの旅行者が増加していますが、南紀熊野地域ではどのような動機を持つ人々をターゲットにすべきでしょうか？対話形式で考えたいと思います。



会場 時間 リヴァージュ・スパひきがわ  
16:30 ~ 17:50

2 Mar. 2016 Rivage Spa Hikigawa

## 夕食交流会

### ◆夕食交流会 19:00~

#### 『夕食交流会(名刺交換会)、懇親会』

会場 時間 リヴァージュ・スパひきがわ  
19:00 ~ 20:30

#### 『夜なべ談義』

会場 時間 リヴァージュ・スパひきがわ  
21:00 ~



※写真はイメージです

2 Mar. 2016 Rivage Spa Hikigawa

2日目  
3月3日

### ◆道の駅くちくまの、道の駅すさみ視察

#### 上富田町、すさみ町に新設の道の駅視察(貸切バス移動)

昨年の高速道路延伸にともなって新たに設置された道の駅くちくまのと道の駅すさみを視察し、販売商品の選定や陳列の工夫などについて学びます。

会場 時間 古座川町 南紀月野瀬温泉 ぼたん荘へバスで移動  
8:30 ~ 12:00(12:00 ~ 13:00 昼食)



3 Mar. 2016 Tsukinoseonsen Botanso

## 講義

### ◆講義 山田桂一郎氏

#### 『地域資源の発掘・再評価と商品開発』

地域固有の資源を活用した商品開発とはどのようにあるべきでしょうか。いくつかの事例を用いながらその本質に迫ってみたいと思います。

会場 時間 南紀月野瀬温泉 ぼたん荘  
13:00 ~ 14:20



3 Mar. 2016 Tsukinoseonsen Botanso

## 「南紀熊野観光塾」塾長からひと言 <塾の目的>

大変お待たせをいたしました。今年度も持続可能な観光を担う人材の養成を目的とした「南紀熊野観光塾」を開講できることになりました。引き続き、単に観光を基軸とした地域づくりの先進的な事例を学ぶだけでなく、「選ばれ続ける地域」をモットーに「南紀熊野地域」が抱える問題・課題を共有し、あるべき姿をみんなとことん考えていきましょう。3年目を迎える今年度は、これまで塾生を経験された方々を中心に「地域資源を活用した商品開発」をメインテーマにすべてのプログラムに参加することを前提に塾生を募集します。内容はぐっと実践的になりますが、本当の意味での地域活性化につながる商品開発とは何かを理解してもらいます。今年度の「南紀熊野観光塾」も手段ではなく、あくまでも本質を追求していきます。もちろん、建前なしの本音トークでの意見交換もこれまで通りです。第3期生の皆さまと交流できることを楽しみにしています！！

南紀熊野観光塾 塾長：山田 桂一郎(やまだ けいいちろう)



## グループワーク

### ◆グループワーク①

#### 『地域資源で商品開発』

講師：山田桂一郎塾長

ここまでの学習に基づき、南紀熊野地域における地域資源を活用した商品開発について、テーマ設定のための意見交換を中心にグループワークを行います。

会場 時間 南紀月野瀬温泉 ぼたん荘  
14:20 ~ 15:50

3 Mar. 2016 Tsukinoseonsen Botanso



## グループワーク

### ◆グループワーク②

#### 『商品開発で地域振興』

講師：山田桂一郎塾長

それぞれのグループが設定したテーマに基づいて、南紀熊野地域の地域振興に貢献する商品開発についてグループワークを行います。

会場 時間 南紀月野瀬温泉 ぼたん荘  
16:00 ~ 18:00

3 Mar. 2016 Tsukinoseonsen Botanso



## 夕食交流会

### ◆夕食交流会

#### 『夕食交流会、懇親会』

会場 時間 南紀月野瀬温泉 ぼたん荘  
19:00 ~ 20:30

#### 『夜なべ談義』

会場 時間 南紀月野瀬温泉 ぼたん荘  
21:00 ~

3 Mar. 2016 Tsukinoseonsen Botanso



3日目  
3月4日

### ◆グループワーク③

#### 『30年後の姿をめざして』

30年後の南紀熊野につなげる商品開発について、それぞれのグループで発表に向けたまとめの作業を行います。

会場 時間 南紀月野瀬温泉 ぼたん荘  
9:00 ~ 10:00

4 Mar. 2016 Tsukinoseonsen Botanso



## グループワーク

### ◆グループワーク発表・講評

講師：山田桂一郎塾長、出口竜也、此松昌彦、竹林浩志

会場 時間 南紀月野瀬温泉 ぼたん荘  
10:10 ~ 12:00

4 Mar. 2016 Tsukinoseonsen Botanso



## 閉講式

### ◆閉講式

#### 閉講式・修了証書授与・記念写真撮影

会場 時間 南紀月野瀬温泉 ぼたん荘  
12:00 ~

4 Mar. 2016 Tsukinoseonsen Botanso



※画像はイメージです

## バス移動

### ◆貸切バス移動

#### リヴァージュ・スパひきがわ(現地解散)

4 Mar. 2016 Tsukinoseonsen Botanso



## 「南紀熊野観光塾」塾長紹介

塾長：山田 桂一郎 JTIC.SWISS代表、エコツーリズム協会理事、観光カリスマ  
和歌山大学 産学連携・研究支援センター客員教授

## 塾長プロフィール

2005年に観光カリスマ(内閣府・国土交通省(観光庁)・農林水産省認定)：「世界のトップレベルの観光ノウハウを各地に広めるカリスマ」として、これまでのヨーロッパを中心とした環境保全(環境保全活動プログラム、環境教育、環境アセスメント等。海外在住者として初めて日本の環境省に登録された環境カウンセラー)と世界各地における滞在プログラム・ツアーの実施と観光・集客交流の事業化、マーケティングの経験を活かし、観光・地域振興(まちおこし・自立型地域経営、サービス向上、人材育成や中心市街地・商店街活性化等)に関する講演やセミナーの講師として全国各地から招聘されている。また、日本国内でも地域振興・再生のコンサルタントとして様々な事業化(特に地域経営マネージメントの組織化)を進め、多方面で積極的に事業活動を展開し、多くの実質的な成果と結果を残す。民間企業やNPO法人の他にも多くの省庁や地方自治体の委員、プロデューサー、コーディネーター、アドバイザーを務め、大学や高等教育機関でも教鞭をとっている。近年は観光庁「訪日観光セミナー」講師、ミシュラン「グリーンガイドの取材コーディネイト」も行う。2011年には週刊日経ビジネス誌において「次代を創る100人」の一人として選出された。欧州では、ヨーロッパ・アルプス並びにスイス全土に渡る取材・撮影のコーディネーター、ライター(日本旅行作家協会会員)、ビデオカメラマン、通訳としても活動。冬は、現地で唯一の日本人スキー教師、夏は、ハイキング、トレッキングガイドでもある。スポーツに関しては、山以外でもセーリング(ヨット)競技の元国体選手であり、パラグライダーでも空も飛ぶ。陸海空の全てをフィールドとしている。

1965年 三重県津市生まれ  
1987年 ツエルマツ観光局 日本人対応インフォメーション、セールス・プロモーション担当  
1992年 JTIC.SWISS(日本語インフォメーションセンター)設立  
1996年 環境省環境カウンセラー(事業者部門)として登録、ヴァレー州観光局日本・アジア向けプロモーション担当  
1999年 Mt.6(ベスト オブ ザ クラシック マウンテンリゾート) 環境政策とCS(顧客満足度推進)顧問就任  
2003年 環境省環境カウンセラー(市民部門)として登録  
2004年 特定非営利活動法人 日本エコツーリズム協会 理事、まちづくり観光研究所 主席研究員  
2005年 内閣府、国土交通省、農林水産省認定 観光カリスマ  
2010年 総務省「地域力創造アドバイザー」  
2011年 和歌山大学客員教授 北海道大学客員准教授  
2015年 内閣府官房「地域活性化伝道師」、和歌山大学教育アドバイザー

## 「南紀熊野観光塾」講師紹介

講師：出口 竜也 和歌山大学 観光学部 観光経営学科 教授

【出口竜也(とくち たつや)】和歌山大学 観光学部 観光経営学科 教授  
1964年石川県金沢市生まれ。1987年富山大学経済学部卒業、1991年神戸商科大学(現在兵庫県立大学)大学院経営学  
研究科博士後期課程を中退し、徳島大学総合科学部専任講師に就任。同学部助教授を経て、2007年和歌山大学経済学部  
観光経営学教授に就任。2008年より現職。専門は経営組織論、経営戦略論、観光経営論。近年は、人間的アプローチによる  
経営学研究や産業集積研究に高い関心を持っている。また、諏訪産業集積研究センター(SIARC)理事、いざ交流文化デ  
ザイン研究所理事、日本うどん学会評議員など、幅広い分野で要職を務め、学際的な活動をj進めている。

(著書)『日本の経営の本流—松下幸之助の発想と戦略—(共著、PHP研究所1997年)』・『ケースブック現場イズムの海外  
経営(共著、白桃書房1997年)』・『社員の経営人類学(共著、東方出版1999年)』・『経営学への旅立ち(共著、八千代  
出版2001年)』・『企業博物館の経営人類学(共著、東方出版2003年)』・『ケースブック・ビジネスモデルシンキング(共  
著、文真堂2007年)』・『経営戦略の基礎(共著、東京経済情報出版2007年)』・『会社文化のグローバル化(共著、東方出版  
2007年)』・『新グローバル経営論(共著、白桃書房2007年)』・『経営理念—継承と伝播の経営人類学的研究—(共著、  
PHP研究所2008年)』など。



講師：竹林 浩志 和歌山大学 観光学部 観光経営学科 准教授

【竹林浩志(たけのばやし ひろし)】和歌山大学 観光学部 観光経営学科 准教授  
1970年大阪府生まれ。1995年関西大学商学部卒業、2000年関西大学大学院商学研究科博士課程後期課程を単位取得  
後退学し、大阪府立大学(現大阪観光大学)観光学部専任講師に就任。同学部助教授を経て、2007年和歌山大学経済学  
部観光経営学准教授に就任。2008年より現職。専門は観光戦略論、経営組織論、リーダーシップ論。近年は、観光地運営に  
おける戦略主体の移転や組織的凝集力などを中心とした経営学的研究に高い関心を持っている。また、観光庁「観光地  
域づくり人材育成ガイドライン検討会」委員も務めている。

(著書)『現代のチーム制—理論と役割—』(共編著、同文館、2003年)、トライブ著「観光経営戦略—戦略策定から実行ま  
で—」(共訳書、センゲージラーニング、2007年)、『ホーンズ実験の研究—人間専重的経営の源流を探る—』(共著、同文  
館、2008年)、『観光入門—観光の仕事・学習・研究をつなぐ—』(共著、新曜社、2011年)など。



講師：此松 昌彦 和歌山大学 教育学部 理科教育 教授  
防災研究教育センター長

【此松昌彦(このまつまさひこ)】和歌山大学教育学部 教授  
1963年東京都生まれ。1987年東海大学海洋学部卒業、1996年大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程を単位取  
得後退学し、藤山地質年代学研究所へ就職。1999年和歌山大学教育学部助教授に就任。2008年より現職。2010年より  
和歌山大学防災研究教育センター長を併任。専門は地質学・古環境学・防災教育。和歌山県では新生代の地質、特に第  
四紀の古環境について研究している。学校や地域での防災教育プログラムを開発している。最近では南紀熊野ジオパーク  
推進協議会の学術専門委員として、南紀熊野ジオパークをサポートしている。ジオパークから地域住民が、住んでい  
るところの自然史を学び、災害に対して備えるためのプログラムを研究している。

